

2018年度 事業報告書

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(1) ジェンダー問題に関する研究・調査

第2期プロジェクト研究として、人文・社会・自然にわたる多様な研究分野の若手（研究歴が短い）研究者19人の参加をえて、研究会を4回開催した。

<テーマ> 「ジェンダー研究が拓く知の地平」

<内容> 若手研究者（研究員）が、それぞれの専門分野から選んだ研究テーマをジェンダーの視点から捉えた研究発表を順次行ない、参加者相互で議論・アドバイスをを行った。

<研究会>

・第1回 2018年4月28日（土）

*趣旨説明、参加者自己紹介、今後の進め方など

場 所：名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）会議室

参加者： 研究員 11名 研究所理事等 5名

・第2回 2018年9月15日（土） 場所： GRL 会議室

牧田幸文：高齢者の「その人らしい暮らし」の支援のエスノグラフィー

西山真司：性差が社会的であるとはどういうことか

松田和樹：〔ヘテロ〕セクシズムを批判する思想としてのフェミニズム：
憲法24条は正義に合うか？

参加者： 研究員 13名 研究所理事等 7名

・第3回 2018年12月8日（土） 場所： GRL 会議室

新井美佐子：「ジェンダー主流化」、新自由主義、出産奨励主義の下におけるフランスのジェンダー

村林聖子：J. S. ミル『女性の隷従』と他者という存在

洲崎圭子：ドゥルシネアは何処に？—創りだされた理想の女性—

参加者： 研究員 7名 研究所理事等 7名

・第4回 2019年3月24日（日） 場所： 東海ジェンダー研究所セミナー室

高島千代：自由民権運動とジェンダー—研究の現段階と課題

林 葉子：〈女性の人権〉は、日本でどのように論じられ始めたか—
—「廃娼」論との関係を中心に

中田晋自：フランスの「普遍主義的平等原則」と「パリテ（男女同数）」
論争—外国語学部生はこれをどのように受け止めたのか？—

参加者： 研究員 9名 研究所理事等 5名

(2) ジェンダー問題に関する研究への助成

① 個人研究助成

若手研究者を対象に、男女共同参画社会の形成に資する研究テーマを公募し、選考の上、助成した。

- ・募集期間 2018年4月15日～5月31日
- ・応募総数 25名
- ・審査委員会
 - 第1次選考 2018年6月29日 11:00～12:30 当研究所にて選考会議
 - 2018年7月5日 17:00～18:45 当研究所にて選考会議
 - 第2次選考 2018年7月5日 19:20～20:25 当研究所にて選考会議
- ・受託者（4名）
 - * 溝口 聡（ミゾグチ ソウ）
（立教大学法学部 助教）
「不可視化された女性労働者たちーハワイ日系社会における女性労働者像の再検討」
 - * 石田 若菜（イシダ ワカナ）
（駿河台大学法学部 講師）
「ポスト同性婚問題に関する比較法的研究」
 - * THAPA KABITA（タパ カビタ）
（中部大学大学院国際人間学研究科・国際関係学専攻 博士後期課程3年）
「ネパール社会における未亡人の実態調査および支援策の比較研究」
 - * 五十嵐 舞（イガラシ マイ）
（一橋大学大学院博士後期課程）
「アメリカ合衆国の9/11以降のフェミニズムと性的少数者の運動の相対化
ー1970年代から90年代の運動との比較を通じてー」
- ・助成金額 計 1,200,000円（各30万円）

② 団体研究助成

ジェンダー問題を研究している団体の研究計画を公募し、選考の上、助成した。

- ・募集期間 2018年4月15日～5月31日
- ・応募総数 6件
- ・審査委員会
 - 2018年7月5日 18:45～19:15 当研究所にて選考会議
- ・受託団体 1件
 - * 一般社団法人 Spring
「性犯罪に関わる刑法見直しに向けた性暴力被害経験に関する質的研究
ー女性たちはいかにして望まない性交に追い込まれるのかー」
- ・助成金額 20万円

(3) ジェンダー問題に関するシンポジウム、フォーラム等の開催

ジェンダー問題に対する理解・意識の普及や啓発のため講演会・報告会等を開催した。

① 講演会

男性学・男性性研究の視点から男性側に軸足を置いたジェンダー研究についての講演会を開催した。

- ・テーマ 「近代産業社会＝男性中心労働社会のたそがれを前に
～男性学・男性性研究の視点から～」
- ・講師 伊藤公雄さん
(京都産業大学教授、京都大学名誉教授、大阪大学名誉教授)
- ・日時 2018年10月27日(土) 13:30～16:00
- ・会場 サイプレスガーデンホテル2F 中宴会場
- ・参加費 無料
- ・参加者 55名(定員80名)

② 個人助成受託者報告会

前年度の個人研究助成受託者が、研究成果を中間発表するための報告会を開催した。

- ・日時 2018年7月7日(土) 12:25～17:20
- ・会場 東海ジェンダー研究所 セミナー室
- ・報告者

本山 央子(モトヤマ ヒサコ)さん

(お茶の水女子大学ジェンダー学際専攻博士課程後期)

「在日米軍性暴力の現状と司法対応」

加野 泉(カノ イズミ)さん

(名古屋工業大学ダイバーシティ推進センター特任助教)

「子育てにおけるジェンダー役割の再構築

—アメリカ「ヘッドスタート」の家族規範の検討をもとに—

Turmunkh Odontuya(トゥルムンフ オドントヤ)さん

(JICA PROCESS 児童中心型教育支援プロジェクト現地スタッフ及び独立研究者)

「ポスト社会主義モンゴルにおける「理想女性」のイメージ

—婦人誌の「Goomaral」誌及び「Gyalbaa」誌の表紙写真や記事を分析して—

水澤 純人(ミズサワ スミト)さん

(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科特任研究員)

「パキスタンにおけるジェンダー観と近代

—イスラーム擁護協会による女子教育の検討—

柴田 里彩(シバタ リサ)さん

(九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻修士課程)

「公立女子高校の存続過程に関する基礎的研究

—教育行政学的観点からの検討—

目黒 茜(メグロ アカネ)さん

(筑波大学大学院博士後期課程)

「近代「女医」の啓蒙活動—「女性に寄り添う医学」の誕生—

- ・参加費 無料
- ・参加者 29名

* 終了後、報告者を交えて交流会（参加者 19 名）を開催した。

③ 講座

高齢社会におけるジェンダー問題を考えるため、講座を開催した。

- ・テーマ 「ジェンダーから見た高齢社会
一貧乏ばあさんと貧乏じいさんの時代！？」
- ・講師 岩田三代さん（ジャーナリスト・元日本経済新聞論説委員）
- ・日時 2018 年 11 月 11 日（日）13：30～16：00
- ・会場 名古屋国際センター第 1 会議室
- ・参加費 無料
- ・参加者 47 名（定員 50 名）

④ 賛助会員のつどい

賛助会員の交流を図り、幅広い分野におけるジェンダー問題への理解を深めるため、毎年公開して行っている。今年度は、音楽の分野から、作曲家ファニー・メンデルスゾーン＝ヘンゼルの生涯をとりあげ、作品のピアノ演奏とともにジェンダー問題を考える機会とした。

- ・テーマ 「ファニー・メンデルスゾーン＝ヘンゼル
～時代に埋もれた女性作曲家～」
- ・講師 米澤 孝子さん（布池文化センター講師）
- ・ピアノ演奏 釘宮 貴子さん（徳島文理大学音楽学部非常勤講師）
- ・日時 2019 年 1 月 26 日（土）13：30～16：00
- ・会場 文化のみち 百花百草
- ・参加費 無料
- ・参加者 33 名（定員 50 名）

* 賛助会員数 192 名（2018 年度末現在）

(4) 年報及びニュースレター等の発行（広報・出版活動）

①年報『ジェンダー研究』第 21 号の発行

巻頭論文「著書を語る」、公募論文、特別寄稿のほか、当研究所の 2017 年度事業報告も掲載した。

<公募論文>

- ・応募期間 2018 年 4 月 15 日～9 月 30 日
- ・応募総数 5 件（一般 3 件、個人研究助成受託者 2 件）
- ・年報審査委員会
 - 第 1 次選考 2018 年 10 月 10 日 当研究所にて選考会議
 - 第 2 次選考 2018 年 12 月 12 日 当研究所にて選考会議

<内 容>

- ・発行月 2 月
- ・発行部数 700 部

・掲載内容	
巻頭論文（英文・解説文）	1 件
公募論文	2 件
研究ノート	1 件
特別寄稿（4 論文）	1 件
訳書紹介	1 件

②ニューズレター『LIBRA』第 63・64・65 号の発行

ジェンダー問題に関する識者の見解、当研究所の事業などを掲載した。

- ・発行月 7 月（63 号）・11 月（64 号）・3 月（65 号）
- ・発行部数 各号 1,300 部

③設立 20 周年記念国際講演会講演録小冊子の発行

2017 年度に開催した設立 20 周年記念国際講演会のエステル・フリードマン教授（スタンフォード大学）の講演録小冊子を発行した。

- ・発行月 7 月
- ・発行部数 1,000 部

(5) 他団体との連携（共催）

① 公開セミナー *通訳なし

GRL の開館を記念して、アメリカ女性史の第一人者であり、ハーバード大学ラドクリフ研究所所属シュレジンガー図書館元館長であるナンシー・コット教授を招聘し、講師と参加者が議論できる形の公開セミナーを GRL と共催して行った。

- ・テーマ 「セクシュアリティとジェンダー」
- ・講師 ナンシー・コット教授（ハーバード大学）
- ・日時 2018 年 4 月 4 日（水）13:30-16:00
- ・会場 GRL 2F レクチャールーム
- ・参加費 無料
- ・参加者 37 名

② 講演会 *通訳あり

主催「図書館員のキャリア研究フォーラム」、共催「公益財団法人 東海ジェンダー研究所」・「公益財団法人 日本女性学習財団」で講演会とディスカッションを行った。

- ・テーマ 「図書館とジェンダー
～ ハーバード大学の女性史コレクション ～」
- ・講師 ナンシー・コット教授（ハーバード大学）
- ・日時 2018 年 4 月 5 日（木）19:20-21:00
- ・会場 東京大学工学部 工 2 号館図書室
- ・参加費 1,000 円
- ・参加者 52 名

(6) ジェンダー問題に関する資料・文献の収集と提供

- ① ジェンダー問題に関する図書・雑誌・資料を収集した。また、図書・雑誌等の整理を引き続き行った。
 - ・ジェンダー問題に関する図書・雑誌の購入・寄贈 図書 29 冊、雑誌 2 タイトル
 - ・関係諸機関からの研究情報ニュース、研究誌（年報など） 35 タイトル
- ② 名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）への寄贈のため研究者等からジェンダー問題に関する図書・雑誌・資料の寄贈を受けた。
また、寄贈を受けた図書・雑誌・資料の入力や整理を前年度に引き続き行った。

(7) その他当研究所の目的を達成するために必要な事業

- ① ジェンダー問題に関する研究会・研修等に用いるセミナー室・会議室の貸出
 - ・セミナー室 2018 年度利用登録団体 12 件、年間利用件数 92 件（2017 年度 80 件）
 - ・会議室 2018 年度利用登録団体 3 件、年間利用件数 41 件
- ② ジェンダー問題に関する会議等への出席
 - ・「名古屋市男女平等参画推進会議（イコールなごや）」への参加
2018 年 6 月 15 日（金）、2019 年 2 月 6 日（水）
 - ・公益財団法人 あいち男女共同参画財団理事会への出席
2018 年 5 月 24 日（木）、6 月 8 日（金）、2019 年 3 月 20 日（水）
 - ・「あいち女性連携フォーラム」への参加
2019 年 2 月 8 日（金）

(8) 「名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ（GRL）」への支援

- ① 図書・雑誌・アーカイブの寄贈
GRL の蔵書とするため、当研究所の蔵書に加え、多くの研究者から寄贈を受けた図書、雑誌・資料（アーカイブ）を GRL に寄贈した。
 - ・図書 1 ヶ月ごとに寄贈を行い、3 月 31 日現在 4,407 冊の図書を寄贈した。内訳は、和書 2,444 冊、洋書 1,963 冊である。
 - ・雑誌 3 月 29 日に 9 タイトルを寄贈した。内訳は、和雑誌 7 タイトル（内 新規 1 タイトル）、洋雑誌 2 タイトルである。
 - ・資料（アーカイブ） 3 月 29 日に 62 ファイル・89 点を寄贈した。内訳は、大脇雅子資料 1 国際婦人年あいちの会、大脇雅子資料 2 男女雇用機会均等法関連資料、大脇雅子資料 3 労働省・厚生労働省発表資料、ワーキング・ウーマン資料である。
- ② 運営費等の寄附
ジェンダー問題に関する研究をすすめるため、当研究所と名古屋大学の連携事業として 2017 年 11 月に開館した GRL に対し、「図書及び運営費の寄附に関する合意書」（平成 29 年 3 月 3 日締結）に基づき、2018 年度分の運営費寄附金 16,498,000 円を 2018 年 4 月 3 日に名古屋大学へ寄附した。
- ③ 会議への参画（東海ジェンダー研究所と名古屋大学による会議）
GRL 運営小委員会（11 回）、広報委員会（5 回）、図書選定委員会（5 回）、年報編集委員会（6 回）に参加し、GRL の運営・事業内容等の検討を行い、年報の発行を支援した。